

自己改革取組宣言

「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」への挑戦、「地域の活性化」への貢献、「自己改革の実践を支える」JAの経営基盤の確立により、「組合員」「地域」に信頼され必要とされるJAを目指します。

そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、
みんなの願いをかなえていく組織です。

- ◇ JAは、農業者（正組合員）と農業者とともに地域農業を支える者（准組合員）が組織する協同組合です。組合員の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。
- ◇ 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- ◇ 農業者以外の方も、JAの各事業をご利用いただいている方に、地域農業の応援団として准組合員に加入していただいております。
- ◇ 地域農業の振興には、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や大規模な農業施設への投資が可能になります。

主な取り組みを次の3点により紹介します。

1. 多様な農業者の支援へ向けた取り組み
農業法人を含めた多様な農業者への訪問活動や事業間連携(農機センター等)でニーズを把握し、農業金融情勢や必要とする農業資金を提供します。
2. 生産コスト低減に向けた取り組み
銘柄集約による安価な肥料の提案や資材価格低減策(満車直行・予約注文の奨励)を積極的に活用し生産コストを低減します。
3. 地元農畜産物の消費拡大へ向けた取り組み
地域の核となる多様な農業者と新規就農者の育成・支援と実需者ニーズを基に、地域の実状に適した生産の拡大に努め、安全・安心な地元農畜産物の魅力を伝えます。

「これまでも、これからも、地域とともにJA広島北部は総合事業を展開します。」